名古屋西南ロータリークラブ
Weekly Report

安江英雄会長年度テーマ
継続は力、 協力は強力
例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
例会日時 木曜日 12:30
クラブ会報広報委員長 二俣景一

2006-07 年度 R.I.会長
ウィリアム B. ボイド

承 認 1995.3.28
会 長 安江英雄
幹 事 後藤 敞
事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007 号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp
HP http://rc.nagoya-seinan.org/

第549回例会 No. 10平成18年9月14日(木) 晴

敬老祝い例会

- ■ ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ■ 出席報告 会員48名中26名出席
- ■ 出席率 57. 78% 出席計算人数45名
- ■ 修正出席率 8月31日 93. 18%
- ■ ゲスト 米山奨学生 呉燕さん

副会長挨拶 吉田光一

敬老祝い

今年 2006 年1月～12月の間に70歳を迎えられる会員の**川合勝義さん、矢野雄三さん、浮貝文夫さん**にクラブからお祝いを贈呈いたしました。

ニコBOX

●本日は「敬老祝例会」です。今年70歳になられる川合勝義さん、矢野雄三さん、浮貝文雄さんおめでとうございます。 吉田副会長、後藤幹事、和田、長谷川千廣、浮貝、磯部、大塚、松尾、川崎、長谷川龍伸(敬称略)

北折さん 家内にまで誕生祝、有難うございました。

西川さん 家内に誕生祝プレゼントのシフォンケーキ、有難うございました。

加藤さん 前回は誕生祝有難うございました。23日に72歳の誕生日を迎えます。皆様のお陰と感謝しています。

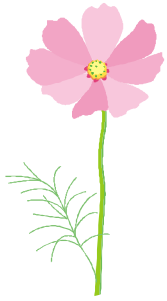
大平さん 初秋ただよう良い季節になりました。実りあるロータリーにしましょう。

●9月は私の誕生月です。お祝いを有難うございます。
鈴原、矢野(敬称略)

本日合計 42, 000円

藤田さん 片山主水ガバナー補佐、酒井法丈地区副幹事にはようこそお越し下さいました。心より歓迎申しあげます。**(9月7日例会での報告漏れ、並びにウィークリー記載漏れでした。心よりお詫び申し上げます。)**

米山奨学生近況報告



呉燕さんから近況のご報告をしていただきました。

委員会報告

●クラブ奉仕 委員長 渡邉徹雄

去る9月1日に開催されました地区クラブ奉仕委員長会議での内容をご報告いただきました。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

『友』インターネット速報 2006年9月19日 No.251

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

RI会長ノミニー決定

韓国・ソウル漢江ロータリークラブ(RC)会員の李東建(Dong Kurn Lee)氏が、国際ロータリー(RI)会長指名委員会にて、2008－09 年度 RI会長ノミニーに選出されました。氏は、対抗候補者が出ない限り、12 月 1 日をもって、正式にRI会長ノミニーに指名されます。

李氏は、ソウルの製造会社、Bubang Co. Ltd.およびBubang Techron Co. Ltd.の会長であり、ソウル銀行の元理事です。また 2005 年に、韓国政府から国際親善大使に任命されました。

1971 年にRC入会。ガバナー、RI理事(2001－03)、RI財務長(2002－03)、ロータリー財団管理委員(2003－04から)などを歴任しています。

詳細は、後ほど『ロータリーの友』に掲載します。

『友』ホームページ情報

9月17～18日に、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が開催されました。

その様子を、『友』ホームページに、写真と併せて掲載しますので、ご覧ください。中段にある「ロータリーニュース」からお入りください。

http://www.rotary-no-tomo.jp/jpn/index.html です。

ガバナーメッセージ（ガバナー月信9月号より）
斎 藤 直 美

残暑お見舞申し上げます。
新年度も２ケ月経ちましたがお変わりございませんか。
クラブ計画書を拝見させていただいておりますと各クラブ会長さんの「意気軒昂や高し」が感じられ嬉しいかぎりです。

公式訪問に訪れたあるクラブの計画書の中に嬉しい発見がありました。そこには「職業宣言」が記載されていたからです。「職業宣言」は、久しぶりに読ませてもらいました。残念ながらこの宣言文の存在はゆっくりとしかも確実に忘れ去れようとしています。しかし、もっとみじめな目に合っているのが「ロータリー職業倫理訓」（道徳律）ではないでしょうか？1990 年代の前半までは、この二つの名文は職業奉仕の金科玉条の扱いを受け、先輩諸氏から読むことをすすめられもしました。しかし、もしかしたら日本の地区から忘れさられようとしています。奇しくもロータリーの第２世紀を歩みだした今、皮肉なことにロータリーの生誕期のような企業倫理や職業道徳の乱れが多発している現状を見るにつけて、再びこの２つの名文に登場を願うものであります。
そこで、今日はほとんど忘れられた「ロータリーの職業倫理訓」をご紹介させていただきます。
「四つのテスト」と共に、多くのロータリアンの座右の銘として親しまれてきた職業奉仕の指針でありますが、その内容の厳しさにある時はボイコットされ、またある時には復活するという数奇な運命をたどった文章のようです。とかく利潤を追い求めすぎる風潮を戒めて、いかにして職業道徳を保ち職業倫理を高めるかの心構えがまとめられています。
（元来は、アイオワ州シュー・シティ・ロータリークラブの職業奉仕委員会のメンバーが二年がかりで作成し（1915 年）、後にその版権が RI に寄贈されたものであります。）

～～～ロータリーの職業倫理訓（道徳律）～～～

1．自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好箇の機会を与えられたと孝えるべきこと。
2．自分の身を修め、自分の実力を涵養し、自分の奉仕を広めるべきこと。ならびにそれを通じて奉仕に徹する者に最大の利益ありとするロータリーの基本原則を実践すべきこと。
3．自分は企業経営者であり、したがって成功の野心を抱いていることを自覚すべきこと。だが、自分は道徳を重んじる人間であり、最高の正義と道徳に基かざる成功はこれを欲するものではないことを自覚するべきこと。
4．自分の商品、自分の労働、自分のアイディアを金銭と交換することは全当事者がこれによって利益を受ける限りにおいてのみ、適法にして道徳にかなうものであるとの信念をもつべきこと。
5．自分の従事する職業の水準を向上させるための最大の努力をはらい、かくして、自分の従事する職業の処理の仕方が、賢明であり、利益を産み、この実例にならえば幸福の道が開けることを同業の者にしらしむべきこと。
6．同業者と同等ないしそれに優る完全なサービスを尽くすような方法をもって企業経営を行うべきこと。また、もし完全なサービスか否かに疑問の生ずる場合には、当該債務上妥当な範囲を超えてまでもサービスを行うべきこと。
7．専門職業にたずさわる者、または企業経営者の最大の資産の一つは、その友人であることを理解すべきこと。
8．利益のためにみだりに友人の信頼を利用することは、ロータリーの精神と相容れない。
9．社会秩序の立場から、他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当または論理的なものと考えてはならないこと。
１０．　友だちに対して義務を負うと同じように、社会一般の人たちに対してもロータリアンは義務を負うべきこと。
１１．　すべての人にしてもらいたいと欲することを人に行うべし。

～～～